

雪がた

— 豊科病院だより —



豊科病院広報誌
平成27年5月1日 発行
発行者 豊科病院広報文化委員会
〒399-8205
長野県安曇野市豊科5777-1
URL <http://shironishi.or.jp/>

豊科病院の理念

自他を問わず人間を愛し、慈しむ心を礎に、病める人、障害を持つ人、悩める人に常に自分の家族に接するように優しく接し、最良の医療・福祉サービスを提供し、地域の人々の要求及び個別的な要求にも応え、地域で人々が快適に生活できるような支援を行う。

4月14日～20日にかけて、各病棟の患者さんが、豊科公園（通称：タコ公園）に桜のお花見に出掛けられました。これは作業療法部が中心となり企画したものです。タコ公園は桜の名所として地元では有名で、幸いにも当院のとても近くにあります。

今年は何年に比べて桜の開花が早く、また雨天の日も続いたため、満開の時期にお花見ができるのか、そのタイミングが心配されましたが、天気にも恵まれ、多くの患者さんが春の風物詩である桜のお花見を楽しまれました。

お花見の季節到来
タコ公園



平成27年度 新年度式

去る4月1日、新年度式が開催されました。

最初に関総長 理事長より、今年度は桜の開花が全国的に早い。桜が春に一齐にパッと咲くように、新入職員も職場にサッと馴染んで活躍して欲しい。今日が新入職員のキックオフの日となる。

また、介護保険制度の改正などがあるが、サービスが低下しないように職員一人一人の努力が必要となる。精神科病院においても、退院促進や地域移行の業務に一層の努力が求められる。人口減に伴い、精神疾患患者数の減少は必至である。今後は時代の流れに沿って、病床を柔軟に利用し、認知症の対応などに本腰を入れて取り組んでいきたい。職員は経費等色々な節約や節減を自らの問題として捉え、1年間の業務に励んで欲しい。』と訓示しました。

引き続き、五味渚院長からは、病院長室に額縁に入った先人の書がある。そこには「やってみせ言って聞かせてさせてみせ誉めてやらねば人は動かじ」と書かれている。その言葉を先輩職員たちに贈りたい。』と、新入職員を育成していく上司や先輩に対し、その姿勢を改めて伝えました。

新年度式では、豊科病院と老人



訓示する五味渚院長

保健施設安曇野メディアの辞令交付が行われ、今年度は、安曇野メディアの新入職員3名に辞令が交付されました。



脳波計リニューアル

豊科病院には以前より脳波計がありました。が、老朽化したため、この度、新しい脳波計を導入いたしました。そこで、今回は脳波計について、O&A方式で、ご説明したいと思います。

Q：脳波計で何がわかるの？

A：脳波計で脳波を計ることにより、疾病としては、



てんかん、意識障害の状態、認知症の進行状況、睡眠障害などがわかります。更に、不安や緊張状態、くつろいだ状態、感情の高まり、傾眠傾向、高いストレス状態、なども脳波で見取ることができます。

但し、空腹時、月経時、睡眠不足、過労等の種々の生理的条件も脳波に影響するため、医師はそれらを考慮した上で診断します。

精神科では問診も重要ですが、CTや脳波といった物理的な検査が、診断の補助として有効となります。

Q: 脳波計はどのように検査するの？

A: ベッドに寝ていただき、できる限り安静及び閉眼の状態、または浅く眠っていただいた状態で検査をします。その際、頭部に19ヶ所の電極を取り付けて計測します。通常の検査では、約30〜60分位の時間を要します。

Q: どうしたら検査を受けられるの？

A: 主治医が脳波の検査が必要と判断した時に、主治医の指示で検査が行われます。

Q: 検査をするスタッフは誰？

A: 当院では臨床検査技師という国家資格を持った職員が計測します。

Q: もしも検査を受けたら、費用はいくらですか？

A: 通常の検査ならば、外来の場合、3割負担の方で、約2千4百円です(初診料や再診料は別途)。なお、

自立支援医療制度を申請されている方は、検査料が大幅に軽減されます。



「初雪山体験」

医局 西里 吉昭

今年の正月は、私にとってきわめて得難いプレゼントをしてくれた。初の厳冬期登山である。

昨年5月に決心し、準備を始めた。1月2日、ついにその日がやってきた。同行者は山岳ガイドである友人のAさん。今回のことで随分とアドバイスをいただいた。それに屈強の若者のFさん。目指すは燕岳だ。

1日の日は冬期閉鎖の道路を13キ歩いて中房温泉泊。3日の朝7時すぎに登山を開始した。

雪の上を1列になって黙々と進

み、正午に森林限界点にある合戦小屋(350シ)に着く。ここは行くか引き返すかの決心ポイントとしていたが、私は行くを選んだ。

ここからは樹木の全くない一面雪野原だ。と、一瞬強風が吹いて地吹雪となり、何も見えなくなる。私にとって、冬山の怖さの体験第1号だ。

午後2時に稜線(ゆうせん)上にある燕山荘に着く。強い西風で、身体が大きくあおられる。

稜線に立って山々を見渡す。私はその美しさに絶句した。真っ白な山々は神々しくも感じられ、また威厳のある美しさだ。夏山とは全く違う。

天気に恵まれた。槍ヶ岳がすぐそこに見える、夕方にはこ



の槍ヶ岳の少し北側を、太陽が真っ赤に染まって沈んでいった。夜は、凍り付いたかのような空気の中、安曇野の夜景が天の川のように浮かんでいた。

翌朝8時に下山開始。登りと同じ道をたどって午後4時すぎに冬期閉鎖ゲートに着いた。ここで私は笑顔でお二人と固い握手を交わす。感謝！

冬山は夏山とは比較にならないほど大変だった。が、今回、その冬

山を愛する人たちの心のほんの一部でも私にはわかったような気がする。自身の感動も大きかった。これからもこうした感動を求めていきたい。

その後、3日間ばかり筋肉痛に悩まされたのだが。



厳冬期の燕岳（当院屋上より撮影）

内科外来よりお知らせ

内科外来は、下表のとおり、4月から週に4日、診察を行っております。午後は休診です。

なお、金曜日は、第2、第4週のみ診察となりますのでご注意ください。

よろしくお願いたします。

外来 医師担当表

平成27年 5月1日現在

曜日	月	火	水	木	金	土
精神科	なかざわ ちとお 中澤 知遠 医師	にしぎと よしあき 西里 吉昭 医師	ごみぶち みつり 五味洵 満徳 医師	ごみぶち みつり 五味洵 満徳 医師 又は なかざわ ちとお 中澤 知遠 医師	なかざわ ちとお 中澤 知遠 医師	ごみぶち みつり 五味洵 満徳 医師
内科	やん すじょん 梁 秀鼎 医師	ささき みほ 佐々木 美保 医師	休 診	むかい ゆういち 向井 雄一 医師	きのた ふみや 木野田 文也 医師 第2・第4金曜日	休 診

◎ 受付時間 午前 8:00～午前 12:00
◎ 診療時間 午前 9:00～終了まで

※ 午後は全科**休診**となります。
※ 日曜・祝日は全科**休診**となります。

※ご不明な点等は、受付へご確認下さい。
お問い合わせ先 電話 0263-72-8400



～ 編集後記 ～

豊科病院広報誌「雪がた」第36号をお届けしました。お読みになっていかがでしたでしょうか？今年の春は急に暖くなり、一気に過ごしやすい時期となりましたが、気温差が大きくなると体調を崩しやすくなります。体調管理にはくれぐれもお気を付け下さい。

さて、本誌のタイトルでもおなじみの「ゆきがた」が各地でみられる季節になってきました。当院から西を向くと、あの有名な「常念坊」が徐々に姿を現ははじめています。そして常念坊が消えると、その左側に「万能鍬」が出てくるのはご存じですか？最近では信濃毎日新聞のタウン情報に特集が組まれていることもあります。早春の安曇野。ゆきがたを背景にお花見をするのもいいかもしれませんね。

※表題「雪がた」について

春から夏にかけて北アルプスでは様々な雪形が見られ、当院からは常念岳の常念坊や、蝶ヶ岳の蝶などの雪形を正面に望むことが出来ます。雪形が季節の変化に合わせて融けるように、患者様の病も融ける・・・表題にはそんな願いが込められています。また、表題の写真は当院屋上から撮影しました。